

## 死亡ないしは重傷自動車事故の増加に伴う、ドライバーおよび歩行者への注意勧告

先週の、死亡ないしは重傷自動車事故多発に伴い、ヨーク郡警察 Armand La Barge 署長ならびに交通部は、ドライバーおよび歩行者に、郡内の道路を運転または歩行に際して、十分に注意するよう呼びかけている。

7月13日月曜日から20日月曜日にかけて、事故復元課は、6人が死亡し、郡警察の警官1名を含む3人が重傷を負った8件の自動車事故のために出動した。

夏の休暇時期になって自動二輪車愛好者、キャンプに参加する人々の避暑地行き来などを加え、自動車の交通量が通常以上になっている。地域の住民は休暇に入り、不景気のためか遠出はせずに、家族との日帰り旅行に出ることが多いようだ。

郡警察交通部はドライバーおよび歩行者に以下に述べる安全のための注意事項を今夏に限らず常に守るよう呼びかけている。

歩行者は;

- ・ 横断は横断歩道または信号のあるところで。中央分離帯の乗り越え、駐車中の車の間からの飛び出しはしないこと。
- ・ 横断するときにはドライバーと目を合わせ、自分の存在を知らせること。
- ・ 交差点での横断は、車が完全に止まってから。
- ・ 信号がある場合、横断信号が出てから渡ろう。「横断停止」サインが点滅したら横断

しない。

- ・ 交差点では曲がってくる車に、車寄せでは出入りする車に注意しよう。
- ・ 車と道路を共有する道路を利用するときには、黒っぽい服装は避けよう。

ドライバーは;

- ・ 常にスピードに気を配ろう。過去5年間、ヨーク郡内で起きた死亡事故の多くは速度違反が最大の事故原因だ。
- ・ シートベルトを着用しよう。自動車事故で死亡や負傷事故を防ぐ唯一の効果的な対策はシートベルト着用だ。
- ・ 飲んだら乗るな(運転するな)。カナダ国内の犯罪による死亡で最多は飲酒運転だ。市民が飲酒が疑わしいドライバーについて911通報する「The Safe Roads」、および「R.I.D.E. (Reduce Impaired Driving Everywhere)」は、年間を通じての交通安全運動だ。
- ・ 運転に集中しよう。多くの事故は、周囲の状況に無頓着なドライバーによって起きている。注意散漫は、電話での通話やTEXT通信に夢中になる、物を食べるないしは読み物をするなど多くの理由で起きる。

La Barge 署長は、「交通安全は全ての人の責任だ。全てのドライバー、歩行者が、ゆっくり行こう、シートベルトをしよう、酒を飲んだら運転しないことを守って安全に貢献するよう希望する。皆でヨーク郡の道路を安全にしよう。」と語っている。

### JSS 説明

歩行者優先は日本と同様にカナダでも交通規則の基本であるが、だからと言って歩行

者が絶対的に優先されるとは限らない。走行速度が比較的速く、ひとたび事故になった場合の甚大な被害を避けるための方策としてカナダの場合、訳出した記事の発信元であるヨーク郡警察に限らず全ての関連機関は、安全を守る責任は「誰にも」あるという立場をとる。甚大な被害を受けた被害者がいくらドライバーを責めても、被害が軽減するものではない。起きてしまっただけでは取り返しはつかないのだ。自己の責任において、可能な限り事故遭遇を避けるべきであるという立場であると考えられる。又、無謀な歩行者やサイクリストとの事故を回避出来ずに被害を与えてしまったドライバーは、むしろ被害者である場合もありうる。我々にとって、単に他人を非難するのではなく、自分の行動にしっかりと責任を持つことは言わずもがなの重要事項である。そしてドライバーでもあり、又歩行者でもある我々は、自分の安全は勿論のこと、自分の周囲の安全に十二分に気を配ることが、特に自動車が行き渡った社会で生活するものとしての責務であろう。

なお、記事中に指摘がある酒酔い運転や無謀運転の場合は、ドライバーのサイドに弁解の余地は全く無い。相手(被害者)の無謀によって引き起こされることもある一般事故とは本質的に異なることを併記しておきたい。